



学校環境緑化の日

「名久井農業高校」といえば「緑育心」



学級分会活動



校内の環境整備



昭和46年



現在

本校は昭和46年、現在の高台へ校舎を移転した。移転当初は建設工事より山肌は削り取られ、砂埃舞う荒涼とした敷地であった。そこで、学校緑化十力年計画を樹立し、生徒・教員・地域住民が一体となって環境緑化に挑んだ。そして、昭和56年の全日本学校環境緑化コンクールで特選を受賞、昭和60年には緑化推進運動功労者として内閣総理大臣賞を受賞。緑化活動でこのような高い評価を受けた記念として建てられたのが、生徒玄関脇にある石碑である。緑育心には、「緑は心育てる」というメッセージが込められている。



地区分会活動



昭和・平成・令和と催される53年目の伝統行事



昭和48年からは、緑育心を校外でも発揮するようになった。それが出身地区へ出向き、環境美化に取り組む地区分会活動の現在のスタイル。平成16年から学校単独で行っていたものを「青い森鉄道利用促進協議会」と「沿線地元組織会の方々」と連携して、全ての沿線各駅において環境整備事業を一齐に展開した。環境美化活動を得意とする私たちが地域から求められた証でもある。